

教科	科 目	単位数	学年・クラス
国語	現代文B	3	3年1組・2組

1 使用教材

使用教科書	高等学校 改訂版 現代文B
出版社	第一学習社
副教材等	-
出版社	-

2 学習の目標

1	様々な文章を読む能力を高め、ものの見方、感じ方、考え方を身に付ける。
2	目的や場に応じた話し方や言葉遣いができる表現力を身に付ける。
3	課題に応じて、情報を活用したり話し合ったりする能力を身に付ける。

3 評価の規準・観点・方法

評価の観点	内 容
① 関心・意欲・態度	国語や言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重するとともに、進んで表現したり理解したりして、国語力を高めようとしている。
② 話す・聞く能力	文章の構成や表現に注意して、筆者の主張や作品の内容を理解することで自分の考えをまとめたり、深めたりしている。
③ 書く能力	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じて筋道を立てて分かりやすい文章を書いている。
④ 読む能力	文書の構成や表現に注意して、筆者の主張や作品の内容を理解することで自分の考えをまとめたり、深めたりしている。
⑤ 知識・理解	表現と理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解している。

評価方法 \ 観点	観点					備考
	①	②	③	④	⑤	
授業への取組	A	A	A	B	C	授業態度など
課題提出	A	A	C	B	C	指示した時期に提出
ノート提出	A	A	B	B	B	指示した時期に提出
定期考査	C	B	B	A	A	定期テスト、課題テスト

※表中のA・B・Cは評価の重要性を高い順に表している。

4 学習計画

学期	学 習 内 容	学習のねらい
1 学 期	世界を見つめる 「ワスレナグサ」 生への思索 「鏡としての他者」 小説を読む(一) 「話を聞かせて」 生への思索 「僕らの時代のメディア・リテラシー」 言語活動 「情報の探し方」	随随想の魅力を味わい、筆者の個性的なものの見方を読み取る。 論理的文章の特徴について学び、より正確に理解するための基礎を身に付ける。 登場人物の行動から心情を読解する力を身に付ける。 筆者の展開する論理を正確に理解し、実生活に照らし合わせて思考する力を身に付ける。
2 学 期	小説を読む(二) 「卒業」 新しい視点 「記憶のゆがみ」 短歌と俳句 「折々のうた」 人間と社会 「経験の教えについて」 言語活動 「研究発表のしかた」	小説のより深い鑑賞と読解の力を身に付ける。 筆者の主張と、その論証の過程を比較し、筆者の論理について検討する力を身に付ける。 近代俳句・近代短歌に親しむ。 文章の流れに沿って内容をつかみ、筆者の主張を理解する。
3 学 期	小説を読む(三) 「山月記」	小説を精読することで、そのおもしろさを味わう。 文章表現の豊かさ、構成の妙を味わい、想像力・感受性を豊かにする。